

ビーナネットChino

令和7年度
予算の概要

令和7年度の予算について、動画でも紹介しています。

令和7年度予算は、①第6次茅野市総合計画によるまちづくりの計画的、効果的な実践、②行財政改革の予算への反映、③ワイズ・スペンディングによる未来への投資の3つを柱とする予算編成方針に基づき、第6次茅野市総合計画が目指す将来像「たくましく やさしい しなやかな交流拠点CHINO」の実現を目指す、「財政健全化と未来への投資のバランス型予算」としました。

行財政改革の取組結果を予算に反映させ、茅野市の将来を担う子どもへの積極的な投資、安全・安心なまちの実現に向けた防災・減災事業、新たな関係人口・交流人口の獲得といった未来への投資へも積極的に予算を配分しました。

令和7年度の予算

一般会計 300億7000万円（対前年比1億1000万円（0.4%）の減）
※公立諏訪東京理科大学交付税相当分及び借換債を除く実質的な予算
276億700万円（対前年比2億9000万円（0.3%）の減）

全 会 計 441億8180万円（対前年比3億9474万円（0.9%）の減）
※全会計… 一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、財産区特別会計（45財産区）

茅野市ホームページ

令和7年度予算の詳細や具体的な事業内容などは「茅野市予算概要」（市ホームページに掲載）をご覧ください。

用語の説明

義務的経費

… 毎年必ず支出しなければならない経費

人件費…………… 特別職と一般職員に対する給料や報酬

扶助費…………… 高齢者、障害者、児童のための福祉サービスや生活保護、医療費など給付に係る経費

公債費…………… 市の借金である市債元金、利子の返済金

投資的経費

… 長期にわたり使用する社会資本整備に要する経費

普通建設事業費… 道路や学校、保育園など建設・改良に係る経費

その他の経費

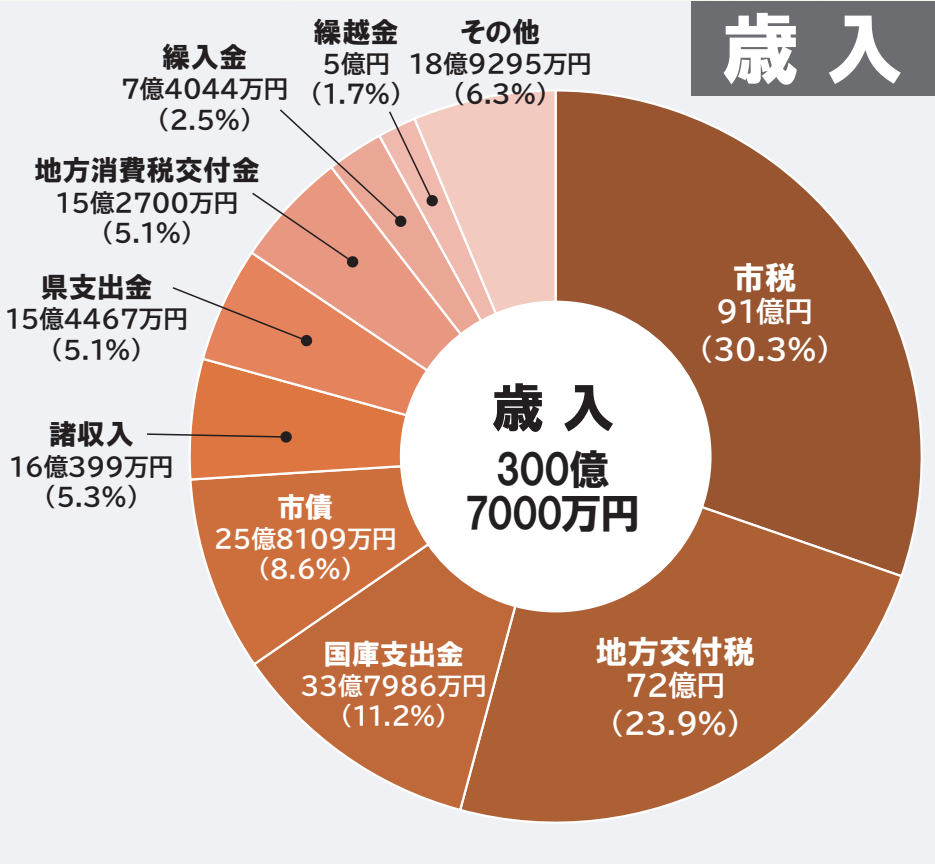
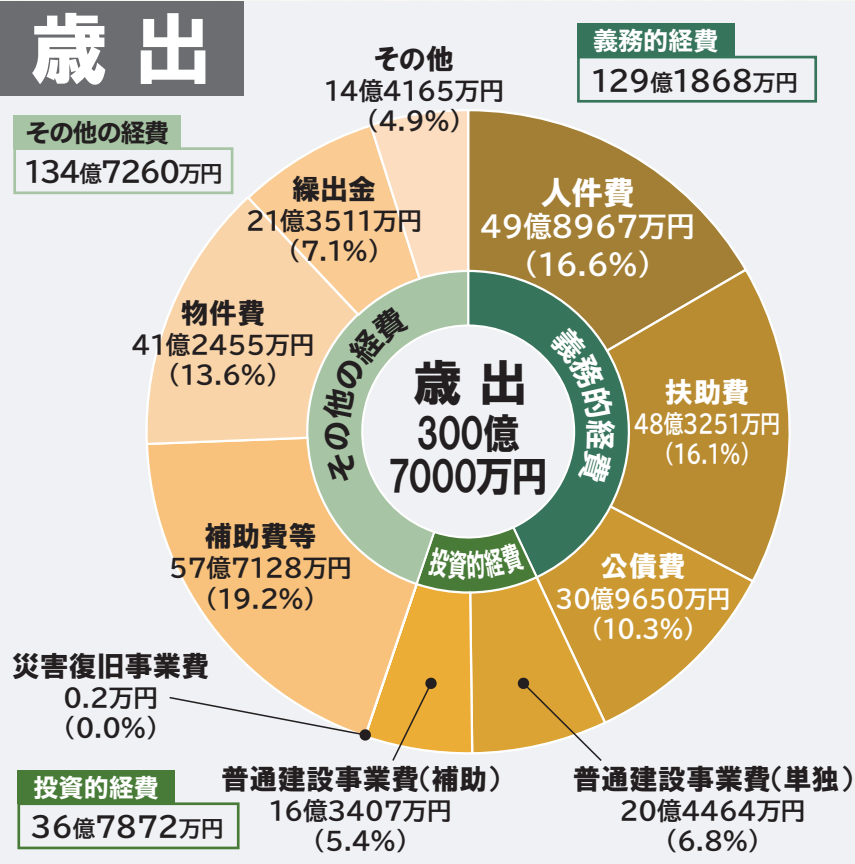
… 義務的経費、投資的経費以外の経費

補助費等…………… 一部事務組合や各種団体、個人などに支出する補助金や負担金

物件費…………… 消費的な性質を持つ経費で、消耗品費や光熱水費、使用料、委託料などの経費

繰出金…………… 一般会計から特別会計へ支出する経費

その他…………… 公共施設などを維持するための維持補修費や貸付金など



用語の説明

市税…………… 個人・法人市民税、固定資産税など市に納めていただく税金

地方交付税… 一定の行政サービス水準を保つため、国から交付される資金

国庫支出金… 特定の目的のために、国から交付されるお金

市債…………… 公共施設の整備などを行うために国や金融機関から借り入れる資金

諸収入…………… 講座受講料など、他の科目に分類されないお金

県支出金……… 特定の目的のために、県から交付されるお金

地方消費税… 地方消費税収入を各都道府県、市町村間で按分し、交付されるお金

繰入金…………… 一般会計以外の会計や基金から繰り入れるお金

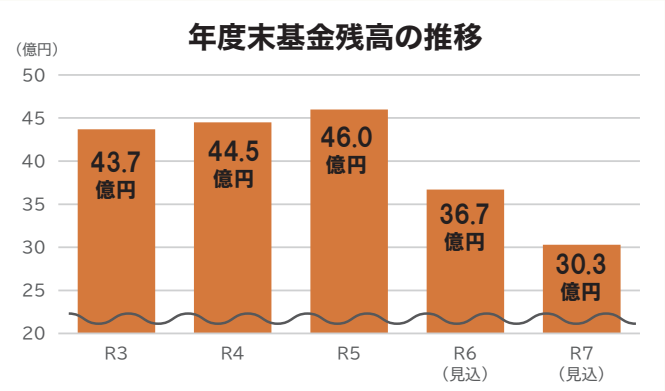
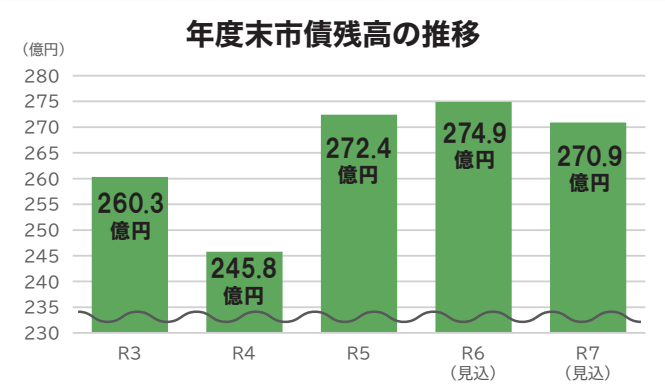
繰越金…………… 前年度から繰り越されるお金

その他…………… 使用料及び手数料、寄附金、各種交付金等

一般会計の市債・基金の状況

市債は、永明小中学校建設関連事業で起債した新校舎建設に係る償還が始まることで残高が減少する見込みで、令和7年度末残高は約271億円の見込みとなっています。

基金は、予算編成において令和元年度から7年連続で財政調整基金を取り崩さざるを得ない状況となっています。今年度は、前年度よりも基金の繰入額が約6.8億円減少しましたが、依然として基金繰入を前提とした予算となっており、厳しい行財政運営が続くことが予想されます。



予算を家計に例えると…

令和7年度の一般会計予算を家計に置き換えてみました。市の予算と家計では、お金の使い道などが違うので、単純には比べられませんが、家計に置き換えると、次のようになります。市の予算も家計と同じように、将来までの支出の見通しをもって、収入を確保していくなど、収支のバランスをとっていくことが重要です。

《収入》	令和7年度	前年度との比較
給与	235,605円	14,412円
うち基本給(市税)	91,091円	4,233円
諸手当(地方交付税、国・県支出金など)	144,514円	10,179円
パート収入(使用料、手数料等)	32,445円	1,924円
貯金の取り崩し(基金繰入金) (※取り崩し前の貯金残高 36,703円)	7,114円	-6,792円
銀行からの借入(市債)	25,837円	-10,543円
計	301,000円	-1,000円

《支出》	令和7年度	前年度との比較
食費・医療費・光熱水費 (人件費・扶助費・物件費)	139,606円	9,214円
ローン返済(公債費)	30,996円	924円
家の増改築など(投資的経費)	36,824円	-12,627円
家・車の修繕費(維持補修費)	2,778円	-171円
保険料・各種会費など(補助費)	57,770円	1,005円
子どもへの仕送り(繰出金)	21,372円	526円
貯金(積立金)	745円	132円
その他の生活費	10,908円	-4円
計	301,000円	-1,000円

令和7年度の主な施策

第6次茅野市総合計画で描く3つのまちの姿と取り組み

① 安心して快適に暮らせるまち

【保健・医療・福祉、都市基盤、消防・防災、環境・衛生、公共交通、行政経営】

② 心豊かに学び育ち活躍できるまち

【子育て・教育、文化・芸術、生涯学習、人財育成、地域コミュニティ】

③ 活力と魅力があふれる稼げるまち

【中心市街地活性化、産業振興、企業誘致、女性の活躍、移住・テレワーク】

③ 都市部との連携を通じた関係人口の創出・拡大事業

事業費 1,040万円

多摩地域の各機関や各企業との連携事業や都市部企業等をターゲットとしたテレワークプログラムを通じて交流人口・関係人口の創出及び拡大を目指します。

令和7年度は、ウェルネステレワークの市内定着化に向けた取組や、公立諏訪東京理科大学の学生を対象とした起業家養成セミナーの実施、多摩地域の学生を対象としたワークショップの開催などを進めます。

② 縄文のビーナス国宝指定30周年記念事業

事業費 45万円

平成7年(1995年)6月15日、縄文時代の国宝第1号として土偶「縄文のビーナス」が国宝指定を受けてから、令和7年で30周年を迎えます。

国宝指定30周年を記念して、歴代縄文文化賞受賞者等をお迎えして、記念シンポジウム等を開催します。



② こども家庭センターによる支援

事業費 673万円

令和6年度に母子保健と児童福祉を一体化した「こども家庭センター」を設置し、妊娠期から成人するまで家庭を継続的、総合的に支援し、支援家庭の安心した子育て、自立への支援を行っています。

令和7年度は、新たな取組として、児童養護施設の職員や助産師等が支援が必要な家庭を訪問し、育児や家事など子育て全般に対する支援を行います。

① 防災行政無線親局設備(操作卓)の更新

事業費 1億1,474万円

市からの情報を発信する防災行政無線の親局設備(操作卓)が令和7年度中に保守期間の満了を迎えるため、新しい操作卓に更新します。

新たに導入する操作卓は、住民への防災情報の確実な伝達のための機能を強化し、情報の一斉配信にも対応しているため、事務の効率化と迅速な情報発信が可能となります。

③ ハケ岳ファン拡大を通じた交流人口・関係人口創出事業

事業費 550万円

知名度の高い「ハケ岳」やそのふもとでの暮らしについてのプロモーション(オンラインイベント、現地ツアーの実施等)を行い、新たな「ハケ岳ファン」を獲得します。さらに、「ハケ岳ファン」に「茅野市ファン」になってもらうための施策をすすめ、関係人口及び移住者の創出・拡大を目指します。

③ 永明小中学校周辺整備

事業費 3億6,448万円

国の補助金を活用し、永明小中学校の建て替えに合わせて、周辺道路等を整備します。今年度も、主に市民館前交差点の改良工事と既存道路部分の改良工事を行います。



② ICT教育の推進

事業費 2億1,263万円

学習でのICT利用に係る環境整備とサポートやネットワーク環境整備、システム導入及び教職員研修等を行い、「茅野市内小中学校ICT教育推進方針」に則って、1人1台端末環境下での教育の情報化を推進します。

令和7年度は、教員が使用する校務システム、端末、学習者用端末の更新を行います。

① 上水道施設の整備

事業費 9億8,253万円

上水道を安全・安心・安定して供給するため、配水池の更新と老朽化した送水管・配水管等の布設替を計画的に進めます。昨年度に引き続き、米沢地区の送配水管の布設替を行うほか、老朽化し容量も不足している御狩野配水池を令和9年度にかけて更新します。また、地震が起こった際でも水道水を確保できるよう、施設の耐震化を進めます。

③ 地域DXの推進

事業費 8,414万円

市民が暮らしやすさを実感できるサービスの提供と、付加価値の高い新たな産業と雇用を創出することを目指し、地域DXを推進しています。

令和4年度に国の交付金を活用し、地域DXの基盤となる都市OSを構築しました。令和7年度は、利用者にとって有用なポータルサイトの構築に向け、都市OSと外部メディアとの記事連携を行います。

③ 農産物の販路開拓及びブランド化の推進

事業費 567万円

委託型の地域おこし協力隊の制度を活用し、付加価値等のある高収入作物の提案や栽培支援、加えて、生産者と販売者をつなぐ新たな枠組みの構築を行い、多様な担い手の創出や儲かる農家の実現を図ります。

また、茅野市産の野菜を「夢科野菜」と命名し、ブランド化を推進するため、啓発物品の製作を行います。

② 不登校児童・生徒・特別支援等の多様な学びの場づくり

事業費 1,997万円

増加する不登校児童・生徒のための学びの場として、平成16年度から、ちの地区コミュニティセンター内と宮川小学校内に教育支援センターを、また、令和5年度から各学校内にサポートルームを設置し、多様な学びの場を確保しています。

令和7年度からは、学びの場の更なる充実を図るため、長野県が認証するフリースクールに通う要保護・準要保護児童・生徒の親に、フリースクールの利用料の一部を補助します。

② 公立保育所の運営

事業費 17億873万円

公立保育所14園では、保護者が就労等により保育を必要とする乳児及び幼児をお預かりし、子育て支援も含めて保育ニーズに対応した施設運営を行っています。



① 青空駐車場拡幅工事

事業費 2,167万円

特急あずさ利用者のパーク＆ライドサービスを実施している青空駐車場は、満車状態が慢性化し、利用者に不便をおかけしていました。そこで、駐車場南側広場を駐車場用地とし、新たに37台分の駐車区画を増設します。



① 公園施設の長寿命化、更新

事業費 2,694万円

令和6年度に公園施設長寿命化計画を策定し、同計画に基づき、国から交付金を受けながら、計画的に公園施設の修繕や更新を行っています。

令和7年度は、永明寺山公園、弓振公園及び花蒔公園の照明や遊具などの更新等を行います。

